

シドニー日本クラブ
第 483 号

JCS だより

5月号
2026



親睦の会「老後の安心設計セミナー」
JCS日本語学校3校が二学期を開始
キネマ倶楽部●Colours of Time
江戸めがね●水筒の話
翔け！マイグラント！「未来ある子供達」
バイクおばちゃんが行く！●ルーマニア(その3)

理事会から

●2026年4月定例理事会 4月1日(水)7:00pm-9:00pm (zoom)

渡部会長、松隈副会長(事務局長)、リヒター理事(会計)、ホジュキンソン理事、斉藤理事、林理事、阿部理事、葛西理事、飯島専門理事、マーン専門理事、コストロ専門理事、原ダンダス校副代表、多田監事、チャーカー相談役、神田領事●会員世帯数:339世帯(一般56世帯・学校283世帯)●次回理事会:5月6日(水)7:00pm (zoom)

◆総領事館からの連絡

神田領事から以下について説明があった。

- (1)中東情勢の悪化により、安全確保に十分注意する
- (2)領事手数料改定のお知らせ
- (3)精神科医療の専門家による無料相談窓口のご案内
- (4)「DV被害者支援のための相談窓口」のお知らせ

◆JCSフェイト(7月5日(日))

【2026年出店料】

- 物品販売:会員\$40/非会員\$70
- 食品販売:会員\$100/非会員\$150
- 5月の理事会でフェイト参加の理事及び担当を決定
- 紙芝居は親睦の会が担当する
- 出店及びパフォーマンス希望者へのお知らせを送付
- 玉入れ担当:ダンダス校、綱引き担当:エッジクリフ校

◆JCSチャッツウッド日本祭り(9月13日(日))

例年の開催場所で改装工事が予定されている。日曜日は工事が行われていないため、開催は可能との説明があった。本件については理事会にて引き続き協議する。

◆その他

- JCS親睦の会大使館表敬訪問に関して
- 2026年度の会員の入退会および登録について

◆学校関係

●シティ校:16クラス、生徒数199名、143世帯

例年9月の運動会を、今年は3月21日に行いました。悪天候が続き心配でしたが、当日は晴天に恵まれ大盛況となりました。上2クラスが運動会の進行を担当してくれ、応援団長と副団長は今年の卒業生。しっかりチームを取りまとめ盛り上げてくれました。余興は、シティ校のソーラン隊がかっこよくパフォーマンスをしてくれました。今年は、赤組が優勝旗を手に入れました。保護者も綱引きに参加し親子で盛り上がった一日となりました。

ニューロダイバーシティについての勉強会を3月21日にフィーラン先生に講師をお願いし行いました。子どもたちは一人ひとり感じ方や学び方が違うので私たち委員・教員も、その違いを理解し、より良いサポートができるよう日々学び続け、これからも子どもたちが安心して学べる環境づくりを大切にしていきたいと思います。4月2日は世界自閉症啓発デーです。青がテーマカラーのこの日は、人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われます。シティ校は、今学期最終日に教員と委員が青系の服で登校しました。自閉症を含む、障がいや特性を持つ子ども達を理解し、環境を整え、学習の機会を作ることを、今後も日本語補習校として取り組んでいきたいと思っています。



●ダンダス校:11クラス、生徒数143名、97世帯

3月はロックダウンと避難訓練を実施しました。実際に緊急事態が発生した場合を想定しながら、生徒の安全を最優先に考え、誘導に努めました。訓練には領事館から金子領事がお越しになり、様子をご覧いただき、満足されてお帰りになられました。

昨年から新校舎の建設が進められていた現地校は、先週ついに完成し、終業日の授業は新校舎使用となり、小学部から上の6クラスが移動となりました。生徒達は少し落ち着かない様子もありながらも、生き生きと学んでいる姿が見られました。適応能力の高い生徒達なので、2学期開始後、すぐに慣れてくれると思います。

学校イベントではありませんが、ハーモニーディナーに参加しました。予想を遥かに上回る盛大なパーティーに圧倒されつつも、他校の先生、役員の方々と交流でき、貴重な経験となりました。

一学期も無事に終了し、二学期に向けて準備を進めています。二学期は年次総会が予定されており、生徒の行事としては授業参観や七夕も開催されます。安全で楽しいホリデーを過ごし、また元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

●エッジクリフ校:5クラス、55名、40世帯

一学期には避難訓練およびロックダウン訓練を実施しました。担任・生徒ともに経験者が多く、いずれの訓練も大変スムーズに進み、特に避難訓練では過去最速での避難を達成することができました。

また、今年度は「日本を知る!」と「新しいことに挑戦する!」を学校全体のテーマとして掲げています。幼児部では、日本の季節に沿ったお話や工作を通して、日本文化に親しむ授業を展開しています。小学部では、全国の名産品を切り口に、都道府県を一つずつ取り上げながら、それぞれの地域への理解を深めています。さらに、漢字検定への取り組みとして、日々の漢字テストを通じて基礎力の定着を図り、継続的に力を伸ばしているクラスもあります。年度末には、漢字検定や校内コンペティションの実施を目指し、教員と運営委員が連携しながら準備を進めています。

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。
私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。
練習日：毎週土曜日2時～3時
場所：Camberay Public School (Palmer Street, Cammeray)
お問い合わせは、Email: jcs.soran@gmail.com まで。
<http://sydneysoran.wix.com/dancetroupe>



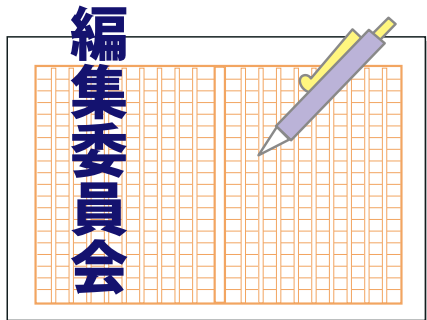
JCSフラアロハ 笑顔で踊るハワイアンダンス

体を動かす気持ち良さを感じながら、人と人との触れ合いを大切に、明るく楽しく美しく、健康第一をモットーに和気あいあいと踊っています。毎年数回のパフォーマンスでは思い切りオシャレなハワイアンスタイルで笑顔で踊ります。
ご参加されませんか？
練習は毎週火曜日11時～12時30分 Chatswoodで行っています。お問合せは、Email: jcshulaaloha@gmail.com
フラアロハ事務局までお気軽にどうぞ。



JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。
2024年秋季2位、春季優勝。2025年秋季(中止)、春季優勝！
JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。
メール：adasada@hotmail.com または、
電話：0402-048-570 (ソフトボール部部长 さだのり 安達定儀)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。
また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？
興味のある方は是非、ご連絡ください。
メール：k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薫)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。
お問い合わせは、以下までお願いします。
メール：jcs@japanclubofsydney.org または、
電話：0421-776-052 (JCS事務局)

親睦の会 だより

会員
募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長：飯島浩樹／事務局長：岩崎麻由／会計：長谷川潔／ボランティア：斉藤なお子、なかのあやこ

■4月18日(土)老後の安心設計セミナー開催

H&H Lawyers法律事務所の林由紀夫主任弁護士をお招きし、「老後の安心設計セミナー：判断能力の低下・介護・住居について考える」と題した講演会をアーターモンのRobata Jonesで開催。約30名が参加しました。



林由紀夫主任弁護士(前列中央)による「老後の安心設計セミナー」参加者の皆さん

セミナーでは、認知症などで判断能力を失った場合に備えるための「安心設計の3本柱」として、オーストラリア(NSW州)におけるEPOA(永続的代理権委任状)、Enduring Guardianship(永続的後見制度)、ACD(事前医療指示書)が紹介されました。

林弁護士によると、①EPOA(Enduring Power of Attorney)は、財産管理や法的手続きを第三者に委任する制度で、通常の委任状とは異なり本人が判断能力を失っても効力が継続する。②Enduring Guardianshipは、医療・生活・介護に関する判断を第三者に委ねる制度で、Service NSWから書式を入手できる。③ACD(Advance Care Directive)は、医療・介護に関する本人の事前の意思表示であり、NSW州ではコモン・ロー(Common Law)上有効とされています。



セミナー会場では参加者との活発な質疑応答が交わされた

いずれも判断能力があるうちに準備することが不可欠で、必要に応じて何度でも見直しが可能とのこと。

また、昨今話題の生成AIが法務に及ぼす影響についても触れられ、時折ジョークを交えた軽妙な語り口に参加者は聞き入り、早めの備えの重要性を実感した様子でした。

■4月21日(火)山中総領事との懇談

JCS渡部会長、水越副会長と「親睦の会」飯島会長が、シドニー総領事公邸に招かれ、「日豪友好協力基本条約締結50周年」にあたりシドニーの邦人コミュニティの視点から交流の歴史について懇談を行いました。



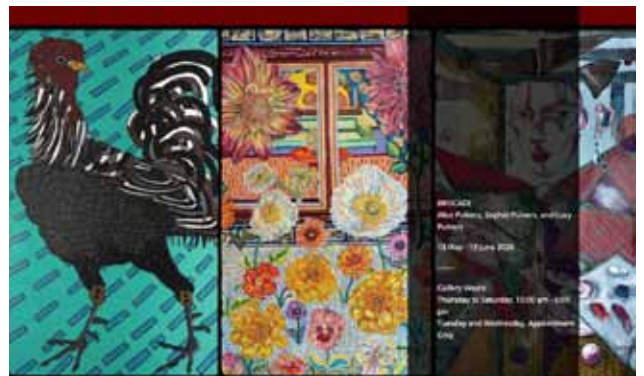
シドニー総領事公邸での懇談会。左から生田領事、JCS水越副会長、JCS渡部会長、山中総領事、親睦の会飯島会長、大西公邸料理人。

今年は両国が正式な友好協力関係を築いてから半世紀の節目で、地域に根ざした日豪関係のあゆみについて率直な意見交換を行いました。大西公邸料理人による食事を挟みながらの懇談では、山中総領事および生田領事から邦人コミュニティの現状や課題、今後の交流のあり方についてなど幅広いテーマにわたって質問があり、半世紀という歳月を経てなお深まり続ける両国の絆を改めて実感した意義深い時間となりました。

■5月13日(水)～ Pulverse Family「BROCADE」 絵画展開催

3月の親睦の会例会で講演された、作家・映画監督のロジャー・パルヴァース氏の3人の娘さんによる絵画展が、ノース・シドニーのギャラリーで約5週間に渡り開催されます。入場は無料。パルヴァース3姉妹の個性あふれる絵画をどうぞお楽しみ下さい。

会場：Rochfort Gallery(Ground Floor, 317 Pacific Hwy, North Sydney NSW 2060 Ph: 0422 039 834)



パルヴァース三姉妹「BROCADE」絵画展

総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

領事情報

(1) 領事手数料改定のお知らせ

4月1日から旅券、証明に関する領事手数料が改定されました。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/consul_consular_affair_fees.html

(2) 精神科医療の専門家による無料相談窓口のご案内

当館は精神科医療の専門家と提携し、無料相談の取組を行っています。下記のようなお悩みで相談希望の方は、当館(cgryoji@sy.mofa.go.jp)までメールで連絡ください。

○主な相談事項

・DV被害者支援(配偶者やパートナー等から様々な被害(DV等)をうけていると感じている等)

・その他日常生活上のお悩みや不安など

○相談方法: メールには、必ず5つの事項(1.氏名、2.生年月日、3.電話番号、4.メールアドレス、5.お悩み事の内容(簡単な説明をご記入ください))を記載願います。

○注意事項: このサービスは診断・治療を目的とするものではありません。予めご理解をお願いします。

(3) マイナンバーカードのオンライン申請について

国外転出者向けマイナンバーカードの申請(新規交付や有効期限に係る更新など)については、5月下旬より全面的にオンライン申請に移行されます。これまで在外公館窓口を経由した申請を受け付けておりましたが、今後はオンラインで直接、市区町村及びカードの製造を担っているJ-LIS(地方公共団体情報システム機構)に申請する方式に変更となります。

オンライン申請開始後は、在外公館窓口での申請受付は開始日前日をもって原則として終了します。これによって、オンライン申請・在外公館窓口受取(もしくは国内市区町村窓口受取)の方式での運用となります。

※注:暗証番号ロックされたカードのロック解除や暗証番号再設定など、カードの現物が必須の手続きについてのみ、引き続き窓口での申請を受け付けます。

治安・安全情報

現在中東情勢が悪化していることもあり、米国やイスラエル、中東諸国の関連施設を狙う事件等に留意する必要があります。また、宗教関連の祝祭日やイベントに参加するための移動が増え、会場には大勢の人が集まることから、テロの標的とされる可能性が高まります。中東地域の治安の悪化が見られますが、中東地域以外においても不測の事態が発生する可能性は排除されませんので、ご注意ください。

近年、警備や監視が手薄で、一般市民が多く集まる場所(ソフトターゲット)を標的としたテロが発生していますが、これらは組織とのつながりが薄い単独犯による場合が多く、事前の取締りが難しいため、今後も継続することが懸念されます。テロの被害に遭う可能性を減らすため、以下の対策をお願いします。

①テロの標的となりやすい場所を十分認識する。観光施設、観光地周辺道路、祝祭日、イベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、ナイトクラブ、映画館、公共交通機関、宗教関連施設等が多く集まる施設、政府関連施設(特に軍、警察、治安関連施設)等。

②上記①の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

テロ・誘拐対策に関しては、以下もご参照ください。

①パンフレット「海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策Q&A」(パンフレットは、https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph_03.html に掲載。)

②ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル(マニュアルは、https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html に掲載。)

③外務省広域情報

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2026C021.html

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

青空のもとで運動会を開催！

例年、三学期に実施していた運動会を今年は一学期に開催いたしました。当日は、前の週からの不安定な気候を吹き飛ばすようなシドニーらしい気持ちのいい晴天となりました。

こどもたちは元気いっぱいにて徒走や障害物走、借り物競争などの個人競技と玉入れや綱引きなどの団体競技を楽しみました。お互いのチームを一生懸命応援する姿や一生懸命に一つ一つの競技に取り組む様子に大人たちもつい応援に力が入りました。

今年は運動会の運営に水無月組ときなこもち組の生徒が加わり競技の準備やお手伝いをしてくれました。上級生として競技に参加するだけではなく運営のお手伝いをするので、下級生のお世話や声がけを積極的にしたり、自分の担当の仕事をやり遂げたりという上級生として素晴らしい姿を見せてくれました。また、シティ校名物である保護者綱引きも白熱し、子どもたちの大きな声援の中で先生や保護者、卒業生の有志が汗をながしました。優勝した赤組さん、おめでとうございます！

子どもたちにとって新しい先生やお友達との楽しい思い出の1ページに、そして保護者の皆様にとってはお子様の成長を間近で見られるような一日になってくれていたら嬉しいです。

クラス紹介 みたらし組

みたらし組は、Y5～Y7で構成された11人のクラスです。元気いっぱい、お互いを助け合える子ども達が集まり、学年の枠を越えながら、日々活気のある雰囲気の中で学習に取り組んでいます。友達同士でも自然と声を掛け合い、困っている人がいればすぐに手を差し伸べる姿が多く見られる、思いやりにあふれた子ども達です。一学期で特に印象的だったのは、運動会での様子です。先生が細かく指示を出さなくても、自分たちで考え、まとまって素早く行動し、一生懸命に競技に取り組んでいました。その姿から、協力する力や責任感の大きさを実感しました。

授業では、3年生下の教科書を使用し、1・2年生の漢字も復習しながら、3年生の新出漢字を学んでいます。また、



毎週の授業でスピーチ活動も行っています。そのスピーチで聴いた内容をもとに、作文を宿題として取り組むことで、「聞く・話す・書く」の三つの力をバランスよく、効率的に伸ばせるよう工夫しています。自分の考えを言葉で表現することに少しずつ自信を持ち始めている様子が見られ、成長を感じています。これからも、子ども達が日本語を学ぶ楽しさを実感しながら、将来社会に出た際に実際に使える力を身につけられるよう、一人ひとりに寄り添い、担任としてしっかりサポートしていきたいと考えています。

(担任: 児玉理鷹)

クラス紹介 たい焼き組



Y6～Y8の8名が在籍するたい焼き組は、男女4人ずつ、計8名の少人数クラスです。人数は少ないながらも、毎週明るく元気な

雰囲気の中で日本語の学習に取り組んでいます。元気で話好きな生徒が多く、授業中には自然と会話が広がり、いきいきとした空気で授業を受けています。また、それぞれが自分の考えや経験を積極的に伝えようとする姿勢が見られ、互いに刺激を受けながら成長している様子を感じています。

今年度は小学校四年上の教科書を使用しています。一学期は、日本の都道府県の漢字学習に取り組みました。知っている場所や行ったことのある地域、好きな食べ物などについて、生徒たちが嬉しそうに話してくれる場面がとても印象的でした。日本語を通して、自分の経験や興味を広げていく姿に、大きな可能性を感じています。また、説明文の学習にも丁寧に取り組み、文章の内容を考えながら読む力や、自分の言葉でまとめる力を着実に伸ばしてきています。

二学期も、このクラスの良さである明るさや積極性を大切にしながら、さらに学びを深めていきたいと考えています。たい焼き組のみんなのこれからの成長を、担任としてとても楽しみにしています！

(担任: 桑原知歩)





JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

クラス紹介 かざぐるま組

ダundas校では、長かった秋休みも終わり、5月2日より2学期が始まります。

毎年3月には、その年の新入生と編入生による手形取りが行われます。集められた手形の一つひとつが、ダundas校独自のこいのぼりの「うろこ」として仕立てられていきます。今年もこどもの日の行事に合わせ、新学期初日にそのこいのぼりの披露が行われました。年々大きく立派になっていくこいのぼりの姿は、生徒たち一人ひとりがのびのびと成長していく様子と重なり、たいへん感慨深いものがあります。また、翌週には、母の日になんだ行事、続いて保護者授業参観日などが予定されており、学校をあげて子どもたちのさらなる学びと成長を温かく見守れる機会となっております。

さて、今月号ではダundas校低学年クラス「かざぐるま組」をご紹介します。



かざぐるま組は、Y1からY4までの男子6名、女子7名、計13名が在籍する、元気いっぱいのクラスです。日本の教科書『こくご1年上・下』を使用し、毎週楽しく日本語の学習に取り組んでいます。授業では、ひらがな・カタカナ・漢字の学習や文法、文章の読み取りに加え、日本の行事や文化に親しむ活動も取り入れています。

1学期には、「ひなまつり」に関する学習を行ったほか、たんぼ組と合同で「書道体験授業」も実施しました。筆ペンで自分の名前を書く練習をしたり、太筆を使って漢数字を練習した後、作品づくりにも挑戦しました。普段あまり触れることのない書道の道具に親しみながら、「文房四宝」と呼ばれる書道に欠かせない道具についても学び、生徒たちは意欲的に取り組んでいました。

また今月は、教科書に登場する読み物「おおきなかぶ」や「おむすびころりん」を題材に、ペーパーシアターや立体紙芝居を取り入れた活動も予定しており、生徒たちに楽しみながら物語の世界に親しんでもらいたいと考えています。

最後になりましたが、生徒たちが日本語を楽しく学び続けられる環境を整えるためには、教員の力だけでなく、学校全体、そして各ご家庭のご理解とご協力が不可欠であると日々感じています。こうして充実した活動を続けられるのも、保護者の皆様、そして役員の皆様の温かいご支援のおかげです。日頃より生徒たちを支えてくださ

っていることに、心より感謝申し上げます。子どもたちの成長を共に喜び合えるこの素晴らしいダundas校の環境に、担任として深く感謝申し上げます。

それでは続いて、かざぐるま組の生徒たちに「今年、かざぐるま組でやりたいこと」を聞いてみました。ぜひご一読ください。以下生徒からの返事です。

- ・あらおかのあ
「漢字で名前を書けるようになりたい。」
- ・いはら こうせい
「じゅげむを覚えてクラスでだれが一番はやく読めるか競争したい。」
- ・ディタヴォン さくら
「絵を描いたり、工作をした。」
- ・やまうられい
「漢字を勉強したい。」
- ・ソンハリー
「おんどくをもっとがんばりたい。」
- ・はやしさやか
「漢字を習いたい、カタカナを間違えないようになりたい、楽しい勉強をしたい。」
- ・おやなぎ ローザ
「漢字とカタカナをちゃんと覚えて、もっと日本語を好きになれるようになりたい。」
- ・あおい
「たのしいクラフトをいっぱいしたい。」
- ・おとは
「かんたんかんじをかきたい。」
- ・すずきひろと
「日本の伝統的なあそびや歌を習いたい。」
- ・ウォン しんじ
「かんじをたくさんおぼえたいです。」
- ・ゆいの
「カタカナをぜんぶかけるようになりたい。クラフトをいっぱいしたい。」
- ・まるえ
「アートとかんじをがんばりたい。」



(担任:宮本恭子)



もうすぐ2学期が始まります

2学期には、こどもの日・母の日・父の日など、ご家族に関わる行事が続きます。それにあわせて、授業参観も予定されています。昨年は多くの保護者の皆さまにご参加いただき、子どもたちにとっても大変楽しみで、心に残る授業となりました。

今年は、各クラスでどのような授業が行われるのでしょうか。学校の年間目標である「日本を知る」にちなみ、ご家族の出身地について一緒に調べたり、共有したりする活動も取り入れられたら素敵だと考えています。子どもたちにとって思い出深い一日となるよう、教職員一同で準備を進めていこうと思います。

クラス紹介 かえで組

今年のかえで組は、Year2からYear5までの10人のクラスです。新しい担任になり、これまでとは違った授業形態に少し戸惑いも見られた一学期のスタートでしたが、週を追うごとに慣れていく様子が見られました。教科書は、二年上のうち昨年度カバーできなかった部分の学習を一学期で終えることができたので、2学期からは二年下に入ります。年間学習目標として、二年生までの漢字を習得する、読解力をつける、まとまった文章をかけるようにする、スムーズに会話をできるようにするなどを考えています。



漢字学習の目標は、生徒たちと話し合いながら決めました。一年生の漢字はクラス全員が100%マスターすること、二年生のすべての漢字の導入を終え、繰り返し復習することの二つです。「100%」という言葉に、子どもたちの目がキラッと輝きました。毎週四つずつ

新しい漢字を勉強して、そのほか、一年生の漢字の復習をしています。日常で漢字を目にしたたり、使ったりすることが少ない生徒たちですが、宿題や教室活動でさまざまなアプローチをしながら、繰り返し同じ漢字を練習することでどんどん身につけています。授業では、新出漢字を一画ずつ増やしながらかんじながら完成するまで書くことで筆順や画数の感覚を養い、漢字の中にどんなパーツが隠れているか、その漢字を使ってどんな言葉や文が作れるかなどを話し合いま



す。漢字表を見ながら自主的にプリントに取り組む時間は真剣そのものです。タスクが早く終わっても、漢字パズルなどのゲームを楽しむことで、3年生の漢字にも触れています。



新学期が始まった時にはとても静かだったかえで組さんですが、今では発言の順番整理が必要なほど活発に話すようになりました。授業前にも、早めに登校した生徒は教室準備を一緒にしながら、その週ので

きごとなどを話してくれます。また、毎週、動物の生態や自然現象などの幅広いトピックについて短い読みものを読んでいますが、内容理解を深める関連動画を見ると、いろいろな経験や知識、感想が飛び出てくるのはとても楽しい時間です。



3時間目は、楽しみながら日本語を使うことにあてています。子どもたちに大人気の「大ピンチずかん」という本から、毎週二つの大ピンチを読んでいます。自身や家族、友人におきたことのあるピンチばかりで、エピソードトークに花が咲きます。ピンチの解決方法も、本にあることに賛同したり、オリジナルの方法が出てきたり、爆笑ポイントがたくさんあります。時には工作やゲーム、体操などで、クラスメートとの交流を深めたり、体を動かしてリフレッシュしたりもしています。

(担任:久保雅子)



イチオシ! YouTube

Take What You Want - One OK Rock Ambition Tour

<https://youtu.be/akt5U9pEBjM?si=UKZcffJnZ6rYsZGF>

この前シドニーにも来て満員御礼のコンサートを行ったOne OK Rock。その2018年の日本でのコンサートでの演奏だが、オリジナルを遥かに超えた感動的な内容になっている。

イントロの1分26秒の後に45秒ほども静寂が流れる。このコンサートの少し前に仲良くしていたアメリカの人気バンドLinkin ParkのChester Benningtonが自殺しており、彼に捧げた黙祷になっている。

その静寂の間、5万人を超える観客は一切声も音も出



していない。そしてその後に始まるTakaの歌はドラマティックで涙を誘わずにいられない展開だ。彼の力強い歌声はもちろん、バンドとしてのクオリティ、そしてファンの一体感は見ている人をエモーショナルにさせる。

YouTubeでたくさんのレビューが世界各地からポストされているが、皆鳥肌が立ったとか泣いたとか絶賛の内容。これだけ感動したライブパフォーマンスは今までに見たことがないかもしれない。

スポーツ天国 No. 195

ラグビーU23日本代表豪州遠征

豪州出身名将エディージョーンズ氏が率いるU23ラグビー日本代表が、4月14日、クージーオーバルで地元の強豪ランドウィックと対戦。シドニーさくらきっずチアリーダーズやたくさんの日本人サポーターの声援を受けて、38-21(前半14-7)で勝利しました。

(ぴか)



会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)



ワインの話

「ワインの話」では、リーズナブルなプライスでありながら、クオリティの高いオーストラリアのワインを紹介します。

Cape Mentelle Marri Chardonnay 2024

★★★★☆

1970年に設立されたCape MentelleはWestern Australia州の素晴らしいワインの産地、Margaret Riverでも最初に

始まった大御所のワイナリー。

その中でもMarriは1976年からつくられている銘柄で評価も高い。Marriの木々が海からの風を遮ってVineyardを守っているという。

Chardonnayとしては強すぎず、ピーチの味わいもありながら飲みやすい。

この地域でつくられているワインはハズレを聞いたことがないが、Cape Mentelleのワインはどれも高いクオリティ。





佐藤至子

131回 水筒の話

町なかで自分用の水筒を持ち歩いている人を見かけることはめずらしくない。最近は小学生も、通学する時に水筒を提げているようだ。ペットボトルを持っている人も多い。飲み物を携帯することが当たり前になったのは、近頃の夏の暑さが尋常でないことも無関係ではないだろう。熱中症に気をつけましょう、こまめな水分補給を心がけましょう、といったアナウンスもよく聴く。

江戸時代にも水筒はあった。「ささえ」や「すいづつ」と呼ばれるものがそれである。たとえば山東京伝の読本『安積沼』(1803年)には旅役者たちが休みの日に安積沼で釣りをする場面があり、「沼のただなかに船をとどめて、破子(わりご)小竹筒(ささえ)取出し、酒くみかはしつ鉤をくだしけるに」と書かれている。「わりご」は弁当を入れた容器である。この場面では「ささえ」に酒を入れ

て船に持ち込んでいる。

三遊亭円朝の落語『怪談牡丹灯籠』にも釣り船のなかで酒を飲む場面がある。浪人の新三郎が、恋しい女性の住んでいる別荘に近づきたいあまりに、その別荘のそばを流れる川へ釣りに行く。同行する伴蔵は「弁当の用意をいたし、酒を吸筒(すいづつ)に仕込」む。新三郎は別に釣りがしたいわけではないので、「持ってきた吸筒の酒にグッスリと酔って」、船中で眠ってしまう。

釣りに食べ物や飲み物を持って行くのは、それなりに時間をかけて釣りをすることが想定されているからだろう。それは日常を離れた遊びの時間である。竹製の容器に入れた酒を口にするのも、室内で酒を飲むのとは違う楽しさがあるだろう。

私の子供のころは、水筒は遠足や運動会、ピクニックなどのイベントに持っていくものだった。現代では日常的に水筒を使っている。このことは、水筒がもはや特別な時間と結び付いたものではないことを意味している。しかしそれは、水筒そのものが特別なものなくなることを意味するわけではない。今や、大きさも形もさまざまな水筒が売られている。目的や好みに合わせて選んだ水筒は、その持ち主にとっては特別なものと言ってよい。「マイボトル」という呼び方が定着しているのもむべなるかな、である。

私のドリームホーム 24



カウンシルのコンストラクションサティフィケートを待っているとともにもう1つ待っているものがありました。それはビルダーによるHOW(Home Warrant Insurance)です。見積りの段階では\$4,500となっていたのですが、詳細の金額が来た時点では5倍の\$21,300となっています。これってちょっと高すぎませんか？この分は最初の見積もりとの間に差がありすぎるとクレームをつけました。数日して半額ではあるが最初の見積もりの倍ではあるという連絡があり、ビルダーからその請求が私達のアーキテクトを通してありました。同時にビルダーと契約を交わしてから総工事費用の5%を支払いました。この初期費用を使用して色々なものを購入していくよう

です。

コンストラクションサティフィケートを待っている間に我が家の方でも事情が変わってきました。1人暮らしをしている87歳の母が家の中で転んでしまい、1人では立ち上がれなくなるという事故が起き、家族で相談した結果ナーシングホームに入ってはどうかという話になりました。我が家のリノベーション待ちの中、母のホーム探し、ファイナンシャルアドバイザーとの面談等。ホームは思った以上に高く、現在母が住んでいる家売りホームの頭金にするのが妥当ということになり、不動産屋にも来てもらうことになりました。そして30年以上住んでいる母の家には物が溢れているのでその片付けが必要です。捨てる物、寄付をする物、現在使っている物に絞っていきます。週に1回母の家を訪れる際には片付けに多くの時間が費やされ、帰り際にはいつもゴミ箱が一杯になり、寄付の洋服類などのビニール袋6個は帰りがけにドネーションビンに入れていきます。そしてドネーションビンに入れられない物は箱(主にミルククレート)に入れ寄付事務所に持っていきます。片付けを繰り返すことひと月。やっと家がすっきりしてきました。でもどう見ても家の中がうす暗い、というわけで家にペンキを塗ることにしました。

(マイホーム)



感想① シドニーで最近開催されたフランス映画祭でのセンターピースだった作品。なんの先入観もなく観ていくと現代と過去が繋がり、まるで夢のようなストーリーが展開されていった。たまたま最近ヨーロッパの巨匠らの作品や歴史的背景に興味を持ち始めたところだったので、19世紀末の画家たちのモンマルトルでの生活も想像できて刺激的だった。果てしなく美しいヴィジュアルのシャワーでベル・エポック期のフランスをロマンチックに描き、現代の我々の視点からも芸術を再発見できる秀作。今年の7月下旬にHayden Opheum, Palaceなどでも上映予定。シネマのビッグスクリーンがオススメです。

(★★★★★ かつちゃん)



Colours of Time (原題La venue de l'avenir(未来の到来))

監督:セドリック・クラピッシュ

出演:スザンヌ・ランドン、アブラハム・ワプラー、ジネディーヌ・スアレム、ジュリア・ピアトン、ヴァンサン・マケーニュ 他

●作品概要

2025年、弁護士の呼びかけにより、約30人の親族がパリに集められる。彼らは皆、1873年生まれ的女性アデルの子孫であり、ノルマンディーの田舎にある長年放置された屋敷を共同で相続していると告げられる。その行く末を決めるため、比較的若い4人の「いとこたち」が現地を訪れ、調査を担うことになる。屋敷の周囲ではすでに開発が進み、土地を狙う業者の存在も感じられる。中に入ると、まるで1940年代で時が止まったかのような静けさに包まれていた。探索を進めるうちに、古い写真や手紙、日記、絵などが見つかり、それらをつなぎ合わせることで、アデルの人生が少しずつ浮かび上がってくる。やがて彼女が、祖母の死をきっかけに故郷を離れ、パリにいる母を探す旅に出たことが明らかになる。4人は残された手がかりを頼りに、その足跡をたどり始める。

感想② 『Colours of Time』は、久しぶりに血しぶきとは無縁の、静かで心温まる余韻を残す作品だった。脚本からはモネをはじめとする印象派への深い愛情と敬意が感じられ、印象派が認められていく時代背景が映し出されている。現代の印象派ファンが過去にタイムスリップし、印象派に批判的な美術評論家と対決する場面は象徴的で、面白かった。知られざる家族の歴史や人間の欲望、男女関係、価値観の揺らぎなどが丁寧に描かれ、単なる娯楽映画にとどまらない奥行きを持つ。過去と現在が交錯する中で、「生きる価値」とは何かを静かに問いかけてくる、豊かなヒューマンドラマである。特にスザンヌ・ランドン演じるアデルが時々見せる素朴で自然な笑顔が、この映画の魅力をいっそう際立たせていた。

★★★★★(ふたご座の男)

感想③ 物語は、アデルが生きた1895年と2025年とを行き来しながら進んでいく。相続した屋敷を調べることになった4人も、当初は面倒ごとに巻き込まれたという思いが強く、互いへの関心も薄いままだった。けれど、長距離列車に揺られて屋敷を訪ね、過去をたどる作業を共に重ねるうちに、少しずつ距離が縮まっていく。仕事や家庭に追われながら別々の人生を生きてきた彼らが、何度も顔を合わせるうちに、次第に寄り添い合うようになっていく。本来、先祖の物語を追っているはずが、いつの間にか自分たちのこれからの生き方を見つめ直す旅へと変わっていく。そうして明らかになっていくアデルの人生もまた、この映画の大きな魅力である。20歳の彼女が訪れた当時のパリは、写真が発明され、印象派が台頭し始めた時代。今では巨匠と呼ばれる画家たちの姿を垣間見られるのも楽しみの一つだ。アデルの人生は母のようにドラマティックではなかったが、その静かな歩みの中にこそ意志の強さが感じられた。★★★★★(桔梗)



大きな声では 言えない話



AIで快適な老後が過ごせそう

人工知能(AI)の津波はもう止めることができません。すでに、アメリカではAI機能が搭載された無人のタクシー・バスが走り、数年先には外科手術がAIロボットによって行われるとさえ言われています。

AIは情報の収集・分析・結論を導き出すことを最も素早く、画期的に行います。よって、情報の二次加工に携わる業種、例えば経理、データ入力、会計士、弁護士などはAIの活用により必要なくなってしまうかもしれません。むしろ、将来的にはバスやタクシー、トラックの運転手も必要なくなってしまうでしょう。

あるコメンテーターはこの5、6年でホワイトカラー労働者の50%は失業してしまうとまで言っています。大きい声では言えませんが、我々定年退職を迎えている、または定年間近の者にとっては、車の自動運転により移動の自由が確保されたり、介護ロボットの恩恵を受けたり、AIによって老後は快適に過ごせそうです。



ここが気になる

社会の再構築を真剣に考える時では

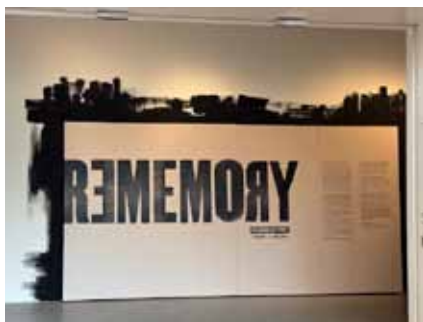
いま世界が大きな岐路に立っているように感じるのは私だけではないでしょう。連日報道される米国側、イラン側、イスラエル側などから発される情報や発言、ホルムズ海峡の様子など。それを受けてあーでもない、こーでもないで一喜一憂するような分析、批判、今後の予測などがニュースとして流れてきます。

でもこれら一連の出来事は、単に一時的な国と国の争いごとではなく、もっと根本的かつ世界全体の大きな問題、つまり米国の武器による平和均衡という大いなる詭弁に目を向け直さねばならないということ、また世界的にエネルギー資源として石油に頼る現状が限界にきていることを直視しなければならないことを、目の前に提示してくれているのではないのでしょうか。

単に「現状復帰」を望むのではなく、本当の意味での世界平和と地球との調和を大切にしていける社会を再構築していけるよう、私たち一人一人がもう一度真剣に考えていく時期にきていると思います。(さかな)

第25回シドニー・ビエンナーレ2026」に行ってきました！

本誌4月号「Let'sアート」でも紹介された、2年に一度の国際現代美術の祭典「第25回シドニー・ビエンナーレ2026(The 25th Biennale of Sydney)」。主要会場の一つであるNSW州立美術館に行ってきました。今年のテーマは「Rememory(リメモリー)」。すばらしいアートがてんこ盛り！アート好きにはたまらない空間です。展示会は6月14日まで開催しています。



Installation view of the 25th Biennale of Sydney, 'Rememory', at the Art Gallery of New South Wales, 14 March - 14 June 2026, artworks © the artists, photo © Art Gallery of New South Wales, Felicity Jenkins.

JCS盆踊りの会をはじめます！

5月から毎月第一金曜夕方、Crows Nest Centreで練習を行います。初回は第二金曜日の5月8日(金)です。練習は、一部は「上手に踊る」ための予約制セミプライベート・プライベートレッスン。二部はウォークイン参加で「楽しく踊る」ための盆踊りの集まりです。

コミュニティーや日本に興味のある人に月1回、お友達や家族と一緒に踊り、気が向けば周辺でお食事をするなど交流の場になればと思っています。

日時：第一部17-18時(日本舞踊のレッスン25分×2)
第二部18-19時(盆踊り50分) 途中休憩あり

場所：Crows Nest Centre(メトロ Crows Nest 駅下車)

料金(二部)：JCS会員\$7~・非会員\$15(当日現金のみ)

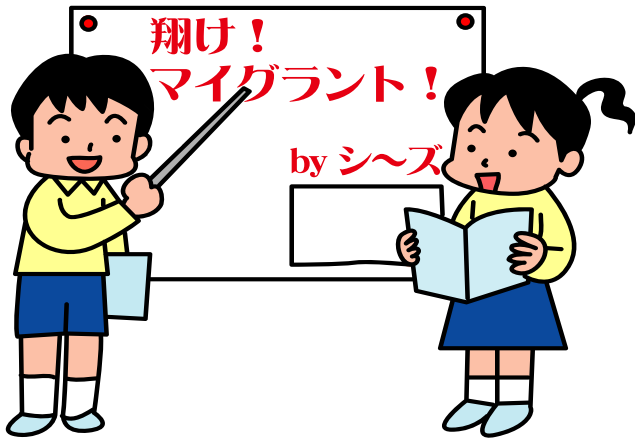
※家族参加の子どもは会員・非会員問わず18歳未満無料

内容：ラジオ体操第一(準備体操)、
盆踊り三種類を気楽に踊る

連絡先：平林純子

sydney-japanese-dance-jcs@ymail.ne.jp





【第48回】 未来ある子供達

先日、中国からのインターナショナルスチューデント達に、なぜオーストラリアに留学しようと思ったのかと聞いてみました。皆、中国の教育がきつ過ぎて辛いから、と口を揃えて嘆いていました。地域によって違うようですが、中国の公立の学校は朝7時から始まり夜は10時までで一日12時間授業があるそうです。しかも朝昼晩は学校から食事が支給され帰宅するのが遅いのにも関わらず、帰宅後も宿題などで追われ家族と過ごす時間もないとのこと。そのような実態もあるからこそ海外での教育を希望する生徒達が増えてきてるようです。我が校も20年程前からインターナショナルスチューデントを受け入れるようになり毎日のように入学してきますが、8割以上は中国からの生徒です。かつては日本が受験戦争による塾社会が世界でも話題になっていました。良い幼稚園に入園するところから始まり、良い学校、良い大学を目指して最終的には一流企業に入社するために小学生から夜遅くまで塾通い。今は中国や韓国など筆頭にアジア諸国でも教育加熱が進み塾漬けの毎日というのは聞いていましたが、この中国の公立学校の教育に対しての競争は凄いですね。オーストラリアに来て他の世界を体験できた皆のびのびとした表情で語ってくれました。

次にアフガニスタンからの難民の生徒に聞きました。とても聡明な心の美しい女子生徒ですが、女子が高等教育を受けることができず今オーストラリアに来て色々なことを学べる事が幸せだと切実に訴えていました。英語力、特にオーラルは全く問題ない彼女たちですが、何といても数学が弱い。なので数学の時間には別の部屋で四則計算を教えているのですが、勉強にとっても熱心です。将来は国に戻って自分の国の人達を助ける仕事に就きたいと語ってくれました。

我が校には常に約20カ国からの生徒が通学していま

すが、内訳としては、7割以上が香港、台湾を含む中国語圏、次に多いのが日本人で約1割弱、その次にスペイン語やポルトガル語圏の中南米、フィリピン、韓国、タイ、ベトナム、ペルシャ語系などに続き、ヨーロッパ、イスラエル、モンゴル、アラビア語系などは少数で占められています。同じ国または同じ言語を話す生徒同士はすぐにグループになり、昼休みを一緒に過ごすことが多いのですが、同じ言語を話す友達がいない国からの生徒は、お昼休みを独りぼっちで過ごすことも。



我が校では、そんな生徒たちのためにランチタイムに色々なクラブを始めました。曜日ごとにアクティビティを定め、編み物、レゴ、エンジニア(つまり廃材を使った工作)、デッサン、塗り絵、折り紙。ここには多国籍の生徒が集まり、国籍やクラスの壁なく皆楽しく過ごし、これを機に新たに交友関係が広がり、オーストラリアに来てとても楽しいと語ってくれました。

さて、日本の学校は今でも保健室というものがあるのでしょうか？スクールナースがいて、怪我や病気だけでなく精神的にも面倒を診てくれる場所。オーストラリアの学校ではSick Bayで病気や怪我などのファーストエイドの処置を受けたり休養したり、精神的なことに関してはスクールカウンセラーが対応しています。我が校も同様です

が、病気怪我ではなく、かつカウンセラーへの相談まで深刻ではない生徒がライブラリーに集まってきます。私は普段授業以外の時はライブラリーに勤務しているのですが、休み時間やランチタイムに行き場の無い生徒やちょっと寂しい生徒が、友達や学校や私生活などの愚痴をこぼしたり相談をしに来るのです。ちょっとした憩いの場所になっているのでしょうか、私と他愛のないおしゃべりをして、ちょっとリフレッシュしているようです。

未来ある子供達がオーストラリアで楽しく学び、視野を広げ将来への可能性を導くお手伝い如果能したら嬉しいです。



バイク おばちゃんが 行く！

その3

ピアスやすこ

元共産国である東ヨーロッパの国々を2025年に旅した旅行記を今年の1月から隔月で奇数月に連載しています。これまでと今回はルーマニアの話です。

私にとっての歴史に残るルーマニアの人物は、チャウチェスク大統領とコマネチ以外にもう一人大事な人物がいます。それは誰でしょう？吸血鬼ドラキュラです！ドラキュラはルーマニアで生まれたということを皆さんご存知でしたか？私は以前、なんとなく聞いたことはあるけれど、詳しいことは知らなかったので、ルーマニアにドラキュラ城があると聞き、行かなくてははいけないリストに載せました。昔見たクリストファー・リー主演のホラー映画「吸血鬼ドラキュラ」のストーリーはうろ覚えだけれど、彼の怖い顔はしっかり脳裏に焼き付いています。



映画「吸血鬼ドラキュラ」のクリストファー・リー

ブラン城(Bran Castle)別名ドラキュラ城は、首都ブカレストから北へ車で3時間ぐらいのところにあります。観光バスが出ているというのでインターネットで切符を買い朝早くからバス停に向かいました。片道3時間と聞



ドラキュラ城(Bran Castle)

くと長いのですが、バスは山間部に入り美しい景色を眺めていると決して退屈はしませんでした。バスがドラキュラ城の駐車場に着くとそこは露店土産物屋と世界中からの観光客であふれかえっており、城は、この貧しい国の重要な産業なんだと感じました。バスのガイドさんからこの先に入場券の自動販売機があるのだけれど、優先チケット(普通券より高い)を買うように言われました。このチケットだと長い行列に並ばなくて済むけれど、

普通のチケットを買うと並んでいるうちに時間が足りなくなり、バス出発に遅れるかも知れないからとのことでした。高いお金を払えば並ばなくても済む、地獄の沙汰も金次第です。

小説「吸血鬼ドラキュラ」のモデルになったヴィラド(Vilad)3世、通称ドラキュラ伯爵は、とてつもなく残忍な人で、およそ8万人もの敵兵を捕らえては拷問にかけ残酷な殺し方をしたことで名が知られていました。特に串刺しにするのがお好きで「串刺し伯爵」とも呼ばれていました。この彼と彼が住んでいたお城をモデルにアイルランド人の作家が小説「吸血鬼ドラキュラ」を書いたのだそうです。残念ながら(?)このヴィラド3世が実際に吸血鬼に変身して人の生き血を吸ったのではありません、念のため。面白いことにこの冷血残忍ヴィラド3世はルーマニアでは英雄扱いだそうです、びっくりしました。周辺国の敵からこのルーマニアを守ってくれたからだそうです。敵国と陸続きのヨーロッパは、当時は常に戦いと侵略の日々でした。それに比べると海に囲まれた日本は平和だったと思います。

城を出るとこの国の経済発展のためにと理由をつけてローカルなチープなお土産を少し買いました。観光化され過ぎの感はあるけれど、ドラキュラ城に来ることができて大満足の日でした。



ドラキュラ城周辺の土産物屋

ルーマニア観光を終え私達夫婦は翌日、予約してあったリバークルーズ船に乗り込みました。ドナウ川は、ドイツから始まり10カ国を流れ、最後に黒海に注がれているのですが、私たちはその黒海に面しているルーマニアから乗ってこれから川を上って行くわけです。私はクルーズ船に乗るのは初めてだったので期待に胸が膨らみました。何事も初めてというのは嬉しいもので興奮しますね。ルーマニアを出航したら次の寄港地はブルガリア、いったい何が待っているかしら。

To be continued...



My Favorite Photo

自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともに送ってください。

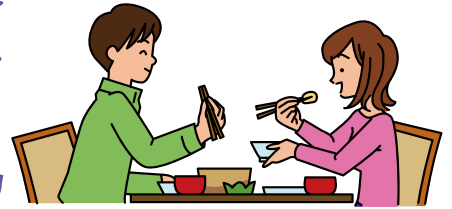


Cooks River

近所に流れているCooks Riverという川。この川沿いをときどき散歩したりするのだが、川の水面に反射した青い空、白い雲、緑の木々は、実に美しい。水面に吸い込まれそうになるぐらい、つい見入ってしまう。ずっと見ていると、どこからどこまでが空で、どこからどこまでが川なのか、ふっとわからなくなって、全部がつながっているようにも見える。そんな不思議な感覚にさせてくれる、私のひそかなお宝写真。



外食日記



Rusty Penny Brewing

住所: 4/137 Coreen Avenue, Penrith NSW 2750

電話: 0247039990

予算: \$60

営業時間: 水木金土 11:00-22:00, 日 11:00-16:00

雰囲気 8、料理 9、サービス 8



今月はPenrithにあるクラフトビールのブリュワリーです。Penrithの駅から15分程歩きます。店舗は広く、座席数は多いですが、週末は予約されているテーブルも多いです。壁にはオーストラリアの動植物が描かれていて、アットホームな雰囲気です。子連れのお客さんもいます。

ビールのタップは24種類あり、ラガーからIPA、サワービールまで幅広く揃えています。6種類のクラフトビールを少しずつ飲み比べるtasting paddleは\$30です。

肝心の食事ですが、こちらの名物は大きな蓋つきのバーベキュー。\$30でビーフ (Brisket) またはポーク (Pulled pork) にコールスローサラダとコーンが付きます。ビーフ、ポーク両方試しましたが、ポークの味付けが甘く感じて、個人的にはビーフの方が美味しかったです。どちらも十分な量がありました。付け合わせのコーン (street corn) がアジア、インド風の味付けで美味しかったです。





仏教語からできた 日本語 その236

渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 219

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

明朝体(みんちょうたい)

一般に「お経」と呼ばれる仏教経典、そしてその注釈書、僧侶の守るべき規律等、およそ仏教に関わる全ての書物を集大成した書物を「一切経」、または「大蔵経」、「開宝蔵」と呼んでいます。これらは中国で編纂され、十世紀後半の北宋の時代に勅命によって初めて出版されました。

この一切経は平安時代、東大寺齋然(ちょうねん)によって日本にもたらされ、藤原道長が所蔵することとなったのですが、火災により消失してしまいました。近世になって、インゲン豆を日本に伝えたことで有名な中国の黄檗山(おうぼくさん)隠元隆琦(いんげん りゅうき)という僧侶が、長崎崇福寺逸然の要請に応じて承応三(1654)年7月長崎に到着。将軍徳川家綱が寺地を京都の南、山城宇治の地に寄進し、今の宇治黄檗山萬福寺が興隆されました。この時、隠元は中国の本寺黄檗山萬福寺に下賜された明の勅版一切経の副本を携えて来日していました。

隠元の高弟で宇治萬福寺の二代を継いだ、木菴性瑠(もくあん しょうとう)の弟子鉄眼道光(てつげん どうこう)は、日本に一切経の広く刊行されたものがないことを遺憾に思い、一切経の刊行を発願したのでした。これを隠元に告げたところ、隠元は大いに喜び、携えて来た明の勅版大蔵経を寄与し、また山内の地を与えたと言います。これが現存する宝蔵院です。

その後、1681年、鉄眼は京都の二条木屋町に一切経を印刷するための印房、現在の「貝葉(ばいよう)書院」を設け、全国を行脚して募財し、寛文九年より天和元年に至るまで、13年の歳月をかけて印刷・出版を完遂したのでした。この13年の間、二度の飢饉に遭遇、その度に集めた財を悉く窮民に分け与えました。そのために募財は三度に及び、「道光は生涯に三度大蔵経を成ず」と称されました。これが世に、黄檗版あるいは鉄眼版と呼ばれる一切経でした。

前述のように、元版は隠元のもたらした明版一切経であり、鉄眼版はその復刻版で、この時の書体が「明朝体」と言われるようになったのでした。現在、一般の印刷、活字の分野で、最もよく知られているこの書体は鉄眼版一切経に由来していたのでした。また、一行20字、一枚400字の原稿用紙も、この黄檗版一切経によって確立したのでした。合掌

万一に備えた事前準備

Q:70代の夫が大きな手術を受けることになりました。我が家では、夫が家計や資産の管理をすべて担っています。最近では物忘れも目立つようになり、万が一のことがあった場合や、将来、夫が判断能力を失った場合のことに不安を感じています。そのような場合に備えて、法的に準備しておけることはありますでしょうか。なお、遺言書は数年前に作成済みです。

A:ご主人が家計や資産管理を一手に担っている場合、判断能力の低下や万一の際に備えた事前準備は非常に重要です。遺言は死亡後の財産分配を定めるものですが、生前の対応としてはEnduring Power of Attorney (EPOA)、Enduring Guardianship、Advance Care Directive (ACD)の3点を検討されることをお勧めします。

まずEPOAは、判断能力が低下した場合に備え、信頼できる方に財産管理や法的手続きを任せる制度です。銀行口座の操作や不動産の売却などが可能となり、「資産があるのに使えない」という事態を防ぎます。ご主人が元気なうちに作成しておく必要があります。というのも、いったん判断能力を失ってしまうと、EPOAを設定することができなくなるためです。

次にEnduring Guardianshipは、医療や生活に関する判断を任せる制度です。どの治療を受けるか、どこで生活するか(自宅か施設か)などを、あらかじめ指定した方が代わりに判断します。EPOAが「お金」、Guardianshipが「生活・医療」と理解すると分かりやすいでしょう。

さらにACDは、ご本人が将来の医療方針を事前に文書で示すものです。延命治療を望むか、苦痛緩和を優先するかなどを明確にしておくことで、家族の迷いや負担を軽減できます。この内容は医療現場で尊重されます。

なお、GuardianshipおよびACDを有効に設定するためには、その時点でご本人に明確な判断能力があることが求められるため、元気なうちに作成しておくことが重要です。また、GuardianshipおよびACDは、ご家族や医師などと共有しておくことが望ましいでしょう。

これら3つを組み合わせることで、資産管理・医療・生活のすべてに備えることができます。特に今回のように手術を控えている場合は、早めに準備されることを強くお勧めします。

◎今月の表紙

『いっしょにあそぼうよー』ボツワナ・マシャトゥ動物保護区

好奇心を溢れさせ、砂埃を上げながらインパラを追いかける子ゾウ。微笑みながら寄り添う母。いくつになっても好奇心こそが生きる原動力だ。興味や関心、その延長線上にある未知なる体験は脳だって活性させる。それぞれが持つ好奇心の芽を育み合える関係を大切にしていこう。こどもの日と母の日を祝う気持ちを親子ゾウに託して。



フォトトラベラーYori / ネイチャーフォトグラファー、トラベルライター
photraveller.com Facebook / Instagram @yori.hirokawa

編集後記

▼ガソリン不足や中東情勢の緊張など、世界は不安定さを増しています。遠く離れたシドニーにいても、その影響から逃れることはできません。便利さに慣れた私たちの日常も、決して当たり前ではないと突きつけられています。だからこそ、顔を合わせ支え合う地域のつながりが今まで以上に重要です。シドニー日本クラブがその一助となることを願います。

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	松隈 由紀子(事務局長兼任)
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	齊藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
理事	堀場 健太
理事	葛西 哲也
理事	林 さゆり
専門理事	飯島 浩樹(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	Read 晶(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信) JCSフラアロハ(Gault 良子) ソフトボール部(安達 ^{さだのり} 定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎 西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐 坂口 潤・齊藤なお子・大塚るる・松下友紀

編集から

みなさんの感想をお寄せ ください！投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

●送付先(本誌編集長): k.murn@jcs.org.au

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより感想・原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email(k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052(9時~18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org(松隈由紀子)まで。

会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

日本ブレーンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当: 人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

Email: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告データ(掲載できるアートワーク)を、メールで、jcs@japanclubofsydney.org まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告データ(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛にメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

会費納入 料金

支払方法

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」でお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿をメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を
提出してください。
オンラインの場合は **こちら**